



学校だより

令和5年12月22日
市川市立第六中学校
校長 植木 昭貴

【節目を大切に!】



今年もあと少しで終わります。2023年は皆さんにとってどんな年でしたか？

私にとってこの1年は「変化と挑戦の年」でした。4月に皆さんと出会い、これまでと異なる新たな環境の中で、時には皆さんから元気や勇気をいただいたり、時には自分の未熟さを感じたりしながら多くのことを学ぶことができた年であったと感じています。

さて、明日より冬休みが始まります。冬休みは年末年始ということもあり、多くの風習や行事があります。これらは国や地方によりさまざまありますが、ここでは一般的なものを紹介します(由来等については諸説あります)。

○クリスマス(12月25日)

イエス・キリストの降誕祭(生まれてきたことをお祝いする日)のことで、2~4世紀の頃に始まったという説が有力視されているようです。クリスマスイブは前夜祭と捉えがちですが、キリスト教の前身にあたるといわれているユダヤ教では、日没が一日の変わり目という考えであったため、24日の日没後から25日の日没までがクリスマスという考えであったようです。現在では、クリスマスツリーを飾り、プレゼントを交換し、ごちそうを食べるなど、イベント的な存在として広く世界に定着しています。



○大掃除

新年の到来とともに幸せをもたらしてくれる「歳神様」を迎える準備として行います。寒い中での大掃除は大変ですが、普段使っている場所や物などに感謝の気持ちをもってきれいにすることで、心の中もすっきりすることでしょう。期間は12月13日(江戸時代に「すす払いの日」として定められていた日)から28日までに終わらせるとよいということです。

○大晦日(12月31日)

伝統的な行事として「除夜の鐘」(煩惱の数といわれる108回の鐘を鳴らすことで、全ての煩惱を払い、清らかな心で新年を迎える)や「二年参り・年越し参り」(年をまたいで お参りすることでご利益が2倍になるという言い伝えも)などがあります。最近では「カウントダウンイベント」も増えているようです(深夜の子供だけでの外出は控えてくださいね)。家庭では「年越しそば」を食べる風習があります。そばは見た目が細くて長いことから家運長命や健康寿などにつながるといわれています。また、切れやすいことから一年の厄や苦勞を断ち切るという意味もあるようです。



○元日(元旦)

「元日」となる1月1日の朝もしくは午前中までのことを「元旦」と言います。新年のあいさつを交わしたり、「おせち料理」や「お雑煮」を食べたり、「お年玉」がふるまわれたりします。おせちには「縁起物」の意味があり、それぞれの料理に五穀豊穰、無病息災、子孫繁栄などを願う思いが込められています。「お年玉」は、元々は「御歳魂」と言われ、歳神様を迎えるためにお供えした鏡餅を家族に分け与えていたものが現在の金品に代わったとされています。昔、正月によく行われた遊びとして、「福笑い」、「かるた」、「凧あげ」、「けん玉」、「羽根つき」、「コマ回し」などがありました。現在では「旅行」や「爆買い」をする人も増えているようです。「一富士、二鷹、三茄子」が良いといわれる初夢は、1日夜から2日にかけて初めて見る夢という説が一般的です。

他にもいろいろな風習があります。ちなみに本日(12/22)は「冬至」です。ご家庭でかぼちゃを食べたり、柚子湯につかったりという人もいるのではないのでしょうか。明日から始まる17日間の冬休み、部活動や受験勉強をはじめ様々な予定があると思いますが、ぜひともいろいろな風習に触れてみてください。そして年末年始は家族との時間を大切にしてほしいと思います。2024年は「辰年」です。龍は運気を上昇させてくれるという言い伝えがあります。皆さんにとって来年が飛躍の年となりますように。よいお年をお迎えください。